

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力を伝えています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

健康新聞

発行所
発行人



新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

<https://shinkenko.jp>



次の御論文は、明主様（当協会の教祖）が、昭和二十五年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

優しさと奥床しさ

およそ現代の人間を見る時、最も欠陥していいるものは、優しさと奥床しさであろう。

まずここでは本教を主として書いてみるが、例えば自分の信仰がどれ程進み、身魂がどのくらい磨けたかを知るには一つの標準があつて、これはさほどむずかしい事ではない。何よりも人と争う事を好まなくなり、優しさが湧き、奥床しさが現れる。こういう心と態度になるこそ磨けたとみてよく、この点最も信仰の価値をみいだすのである。そのようになつた人にして一般から好愛され、尊敬され、無言の宣伝となるのである。

ところが今日の世の中を見ると、右のような優しさと奥床しさがあまりに欠けてている。何処を見ても人に対しアラ探し、憎悪、咎めだて等、誠に醜い事が目につく。特に現代人の奥床しさなどなさすぎるといつていい。何

事も利己一点張りで露呈的で理屈がましく、人から嫌われる事などあまり気にかけないのは、自由主義が行き過ぎ我儘主義になつたとみるほかはない。最も見苦しいのは、他人の事となると暴露的で、排斥主義で、人情の薄い事甚だしい。このような人間が増えるから、社会は暗く冷たく、人生の悲観者があります増えるという訳で、近来自殺者の多いのもこんなところに原因があるのでなかろうか。故に眞の文化社会とは、英國の紳士道や米国の博愛主義のごときを奉ずる人々が増え、社会道義がよく行われる事によつて、気持ちのよい住みよい社会が生まれるのである。そうなつた社会こそこの世の天国としたら、天国は誠に手近いところにあるのである。

また別の面からみると、今日観光事業が国策上最も緊要事と呼ばれているが、なるほど物的施設も大いに必要ではあるが、外客に好感を与える事は、より以上の必要事である。というのは外客に接する場合、優しさ、奥床しさと、清潔の、この三つが揃う事で、これこそ一文の金もいらない外客誘致の最も有力なものとなろう。そうして、こういう人間を作るその根本条件は、何といつても信仰であつて、本教はその方針のもとに邁進しつつあるのである。

ネパール

神経圧迫

全身の痛み、淨靈で良くなる

バクタプール支部
ビシュヌ・ポルサダ・ベレ (46)



私は二〇一五年初め、三十六歳の頃から腰や足に痛みがあり、全身に疲労感がありました。体全体が痛みますので、座ることも出来ませんでした。

原因も分からなかつたので、病院でMRI検査をすると、「神経を圧迫しているから体に影響が出ている」と診断されました。私は、薬で治療をしたり、漢方薬を飲んだりしましたが良くなりませんでした。

私は以前、知り合いから淨靈のことを聞いていました。その当時は何も感じなかつたのですが、この病気になつて初めて淨靈を受けてみようと思い、早速バクタプール支部に行きました。

淨靈を受けてすぐには大きな変化がなかつたのですが、淨靈を受ける度に体調が良くなつてきているのが分かり、三ヶ月程で回復していきました。私は嬉しくなり、その後も淨靈を続け、二〇一五年八月八日に入会しました。その後、日に日に良くなり、なんと一年後には完全に良くなりました。

明主様の御力は素晴らしいと思い、心から明主様に感謝しています。

(ネパール・バクタプール)

浄靈体験記 2ページ

- 歩行、睡眠困難から短期間で職場復帰
- 母を助けたい一心数々の奇跡を見る…

淨靈によつて病苦から救われると共に運命が向上し、幸せになられた方々の体験手記でございます。

椎間板ヘルニア

歩行、睡眠困難から 短期間で職場復帰



久留米支部
大坪卓 (49)

私は、祖父母や父母が新健康協会の会員であつたため、生まれた頃から淨靈を受けて育ちました。

足腰の痛みが増し 歩くことが困難に…

これは平成八年の夏のことです。私は当時二十歳で仕事をしている時でした。右足全体が何となくだるい感じが…というのは実感していましたが、仕事には休まず行けていましたので、ほ

私は幼い頃から淨靈を受け、今までにも淨靈で救われてきました。そのために、この時も淨靈を続けていきたい：と思い、その日から毎日支部に行くようになりました。

ヘルニアの状態はひどく、とにかく支えがないと座ることも、立つことも、歩くことも出来ない状態でした。夜休む時は、体を伸ばせないので、最初の四日間くらいは、ほとんど眠れず苦しい状態でした。しかし、支部でも自宅でも祖母や家族から淨靈を受けていましたので、少しずつ眠れるようになりました。また、トイレに行くと濃いお小水が出ましたので、それによつて体内の毒素が排出されていると感じ、とても

病院で診察を受けてから二週間経つ頃には痛みが随分と楽になりました。夜も二、三時間は横を向いて、足を曲げて寝られるようになりました。

三月二十日には、久留米支部で健康新聞を地域に配布する行事があつたの

ですが、私も参加することが出来、短

期間でこれほど快復するとは…と大変

有難く感謝しました。

こうしてヘルニアの症状が目に見え

て良くなっているのが分かるようにな

りました。しかし、仕事への復帰はま

だ出来そうではなく、焦りが出てい

ました。今回のことでの長期欠勤とな

り、会社には迷惑をかけていましたの

で、思い切つて辞職することにしまし

た。それによって、安心して快復に専

念出来るということが嬉しく、焦りも

なくなりました。その後も続けて支部

に通い淨靈を受けました。

四月三日、支部に行く時、今まで

母に送り迎えをしてもらっていました

が、この日から自分で車を運転して行

けるようになりました。母に迷惑をかけなくて良いことがとても嬉しかった

です。おかげ様で痛みの方も日に日に

楽になりました。

四月半ば頃には社会復帰の見込みも

出でたので、職業安定所にも時折出

かけるようになつてきました。

五月に入り、一段と足腰の調子が良

くなり、夜中に痛みで目が覚めること

も少なくなりました。その後は仰向け

の姿勢で朝まで眠れるようになりまし

た。

明主様に感謝申し上げ、自分に出来

ることをたくさんしたいと思い、健康

新聞の配布や支部での活動にも率先し

て参加しました。淨靈の御力の有り難

さ、健康であることの有り難さをこれ

ほど強く感じたことはありませんでした。

そして、それから約一ヶ月後の三

月、さらに痛みが増し、歩き方もおか

しくなつて、このまま会社に行けるの

だろうか…と不安になりました。仕事

が休みの日は久留米支部に行き淨靈を

受けっていましたが、三月五日、遂に歩

くことが困難となり、仕事にも支障が

出るようになりました。会社からも

「病院で診てもらった方がいい…」と

言われ、病院で検査をしました。すると

、「椎間板ヘルニア」との診断を受

け、「手術をして全治三ヵ月…」と告

げられました。

私は手術や薬などに頼ることなく、

淨靈を受け、椎間板ヘルニアから救わ

れ、再就職することも出来ました。ヘ

ルニアの診断を受けてから今年で二

八年が経ちますが、再発もなく、毎日

元気に生活することが出来ています。

これからもこの素晴らしい淨靈を伝

えていき、一人でも多くの方が支部に

足を運ばれますよう、念願しています。

誠に有難うございました。

有難い気持ちとなりました。

三月十六日、久しぶりにお風呂に入

ることが出来ました。今までの状態で

は考えられないことでしたので、この

時の気持ちよさはよく覚えています。

</

台湾

嚙下機能損傷・痛風・肩の痛み

母を助けたい一心
数々の奇跡を見る…高雄支部
楊世平
(62)

私の妻（陳怡芬）は、二〇〇六年に新健康協会に入会して、私より早く淨靈を体験しました。私は何年もの間、淨靈に疑問を持ち続けていました。そして時間が経つにつれ、淨靈の不思議さや驚きを経験し、やっと淨靈体験の機会を得ることが出来ました。

思い出すと妻は入会してから、子どもたちにも淨靈をするようになりました。あの時、私は不思議に思つて、なぜ淨靈なのか：それで大丈夫なのか：

淨靈で大丈夫なのか？

二〇一三年に入会して早十二年、私はこれまでに数えきれないほどのおかげと奇跡をいただいてきました。

二〇一二年、私は四十九歳の時におかしな病気にかかりました。ベッドで横になつても苦しくて、寝返りも出来なくて、話す力もなかつたのです。もしかしたら死ぬのでは…と思つた程です。妻は私の苦しんでいる姿を見て「淨靈を試してみる？」と声をかけ、しばらく淨靈をしてくれました。すると驚くほど早く楽になり、体はすぐ元の通りになりました。これが初めての淨靈体験でした。ただただ驚きでしかなかったのです：淨靈はこんなにも素晴らしい…と、私の心に深く刻まれました。

母を助けたい…

二〇一三年に入会して早十二年、私はこれまでに数えきれないほどのおかげと奇跡をいただいてきました。

その頃、私の母親は二度の脳卒中で嚙下機能を損傷していました。淨靈の体験の驚きから、明主様の御教えや講話を読み始め、母親の助けになる情報を探しました。文中の淨靈の原理や無数の会員さんの淨靈の奇跡の体験談を読むうちに、「母親に淨靈をしたい」と思うようになりました。

そして二〇一三年一月十二日、私は入会しました。当初は淨靈を疑つていたのに、この時は淨靈で母を助けたい一心でした。ほぼ毎日、母親の介護施設に通つて淨靈をするようになります。

母は介護施設で毎年の健康診断を受ける度に、すべての検査結果が良好でした。長期間寝たきりの高齢者にとって、慢性病が付きもので、鼻や胃に管を通し、尿管を入れる場合が多いですが、母はこうした管を必要としない数少ないケースでした。

二〇一九年二月七日、介護施設から

母の右膝の骨折の疑いがあるとの連絡を受けました。レントゲン検査の結果、膝の上部の骨折を確認し、ギプス固定をしました。医師は「骨粗しよう症ですから、治癒は難しいでしょう。骨折の所を固定してズれないようにして、筋肉や皮膚を傷つけて、二度目の炎症が起きないようにする事が重要です」と話し、治癒への期待はしないようにと暗に示されました。

私は明主様に御守護をお願いして淨靈をしました。その後、母の右足の裏がギプスのせいで少し変形したので、八月七日にギプスの調整をお願いしました。医師はレントゲンの写真の骨折部分を見ながら「お母様の骨折部分は既に治癒して、とてもいい状態です」と話され、私はとても信じられませんでした。医師自身も驚いている様子でした。

入会後の二〇一三年十一月八日、痛風が再発し、十四日間にわたつて痛みました。痛風の経験者なら、薬や注射での痛み止めなしに乗り越えることが、とても大変なことは分かると思います。しかし、淨靈のおかげで無事に乗り越えることが出来、健康も一層向上しました。その後、痛風の期間は徐々に短くなり、痛みも軽くなり、徐々に体調が良くなつていきました。

また、二〇一五年十月四日に右肩が激しく痛みました。夜になると、さらに激しくなり、息をするだけでも肩に激痛が走りました。明主様にお願いして淨靈を受けると、なんとか一眠り出来るまでに良くなりました。そして

と感謝でしかありませんでした。
明主様、誠に有難うございます。

翌朝、奇跡的に痛みがなくなりました。前の夜はあんなに激しかったのに、翌日は快復していることに驚きました。すると、三十年前に傷めた肩も癒え、淨靈で、聴力も徐々に快復しました。

私も救われた…

淨靈を通して浄化作用の過程を理解することが出来ます。この過程を継続して頑張れば、神様が私たちに教えて下さるメッセージが見えてくると思います。私は以前から痛風の症状があり、肩の古傷と聴力の低下が長年の悩みでした。その時は、痛風が発症したら注射を受けると、すぐに痛みが消えました。一本で治るものだと考えていました。しかし、半年後に再発した際には、注射は効かず、薬を飲む必要がありました。痛みが長引くようになって、発作の頻度も増していました。また、三十年以上前、私は徴兵で軍隊に入つた時に右肩の靭帯をひどく傷め、その後遠投は出来ず、力も入らなくなつていました。さらに、射撃訓練を指導していた際に耳を防護しておらず、聴力が酷く退化して、段々人の会話が聞き取りにくくなつっていました。

一人でも多くの方が、どうか躊躇せず淨靈を受けてほしいです。

（台湾・高雄市）

淨靈

淨靈は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。

淨靈によって魂は清净化され、肉体が健康になっていきます。
まずは試されてみてはいかがでしょうか。

自然農法

自然農法体験談



川棚支部
西坂イマ子(78)

自然農法とは自然を尊び、愛情をかけて育てることで、自然力を生かす農法です。

今までにない美味しさ

自然農法で作るものは勿論体に良く、味もすばらしく美味しいです。初めて自然農法の白菜を食べた時は今までに味わったことのない美味しさを知り、感動致しました。

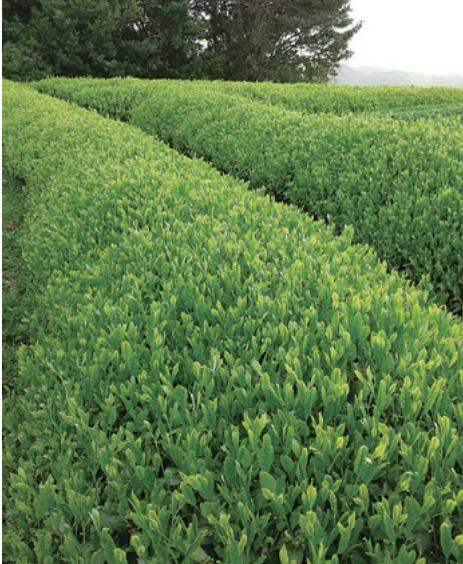
私は大根、ゴボウ、人参、ネギ等を自然農法で作っておりますが、もつとも自信があるのは「坂本里芋」です。ねばりのあるとてもおいしい里芋です！

私は自然農法を始めて四十年以上になります。我が家がお茶所なので、お茶作りはつきもの。何年も夫と慣行栽培でお茶作りに励んできました。

しかし、夫がお茶に消毒をする作業をしていたため、ひどいジンマシングが出始め、長く続けては体に良くないと思いました。

消毒の怖さを知り、何か良い方法がないかと考えていた時、以前から新健康協会の川棚支部に通っていた私たちは、当時の支部の先生から自然農法の話を聞き、「自然農法でお茶を作る方がありますよ…」の一言で自然農法を志すきっかけを頂きました。

どうしたらうまくいくだろうか…



西坂さんのお茶畠

今は落ち葉を集めて畑にまき、土の保温をしています。そして春になつたら、腐葉土に混ぜています。また、これからは虫除けの草による相乗効果などもきちんと出来るように勉強しているかといけないと思っています。

現在、お茶作りは息子に世代交代しましたが、息子も自然農法を実行しています。

この自然農法のお茶、お野菜は最も安心が出来、おどろく程のおいしさです！多くの方々に自然農法の素晴らしいを味わって頂きたいと思います。

誠に有難うございました。

(長崎県東彼杵郡)

美の世界

美によつて人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにすることができます。

小磯良平 《婦人》

籐椅子に体をあずけ、肘掛けに腕をもたれてゆつたりと寛ぐ女性。しかし姿勢は崩さず、白い襟、肩に張りのある整った装いです。胸元と袖口にあしらわれたフリルが華やかさを醸しつつ、柔

かな顔立ちの奥に静かな瞳が据わり、どこか凜とした佇まいを感じます。奥には窓外の風景でしょうか、緑の丘陵に建物が並んでいるようです。右下には「1974 R KOISO」の文字があり、昭和を代表する洋画家、小磯良平の作であることが分かります。

一九〇三（明治三十六）年、神戸市に貿易商の次男として生まれた小磯は、中学時代から油彩画や水彩画に親しみ、一九二三（大正十二）年に上京して東京美術学校西洋画科に入学します。国际港湾都市として整備され、異国の人々、文物に触れられる神戸において、旧三田藩家臣の家柄に生まれるという、恵まれたといわざるを得ない環境に育つたわけです。美校の同期も、猪熊弦一郎、牛島憲之、岡田謙三、荻須高徳、山口長男といつた俊英が揃い、さらに三学年次の進級からは藤島武二教室に学んでおり、刺激にあふれた学生生活を送つたに違ひありません。実際、在学中の第六回帝展で『兄妹』が初入選、第七回帝展では『T嬢の像』で特選となり、新聞でも「まだ在学中の天才」と報じられて注目され、首席で卒業しました。

『兄妹』は小磯が夏の帰省時に妹と弟を描いたもので、『T嬢の像』は又従姉妹を描いたもので、正確なデッサンをもとに、人物の姿を素直に描き出し、心洗われるような清々しい画面にまとまりました。

戦後は東京美術学校の後身である東京藝術大学の教授を務め、小磯の抱く理想は制作だけでなく教育者としても実践されています。本作が描かれたと考えられる一九七四年は、退官して三年後ということになりますが、こうしたラフな画面で私は的確な描写で清廉な女性美を表す小磯の特質を作つて保たれている感じられるのです

が一貫して保たれていることが感じられるのです

め上げる力は、学生時代に既に培われていたのではないかと思われます。卒業後には二年間渡仏してさらなる学びを深めますが、小磯の関心は新思潮や流行のスタイルだけではなく、古典にも向かい、アカデミーが担うべき土台の重要さを実感することになりました。



晴明会館(美術館)
のインスタグラム
はじめました。

解説
松田愛子



晴明会館 「ゆめのうき世に」前期展

期間 令和7年6月3日(火)~12月13日(土)

※晴明会館お問い合わせ (092)661-1535